

マッチングフォーラムのご案内

～日常生活下における生体情報計測の研究～

当財団では、企業の技術開発、製品開発を支援するため、企業が求めるニーズと大学や研究機関が持つ魅力的な技術シーズを結びつけの場を提供します。研究現場を訪問し先端の研究内容に触れるとともに、事業化に向けて研究者と意見交換を行う、「ニーズ/シーズのマッチングフォーラム」を開催します。

- 開催日時：平成29年11月7日(火) 14:00 ～ 16:00
- 開催場所：広島工業大学生命学部生体医工学科 (〒731-5193 広島市佐伯区三宅)
- 訪問研究室：生体情報・計測研究室(榎 弘倫 准教授)
- 専門分野：生体計測, 医療工学, 健康・福祉工学
- 発表テーマ：『日常生活下における生体情報計測システム』

研究概要

2013年に日本再興戦略として「国民の健康寿命が延伸する社会」を目指すことが発表されました。現在、この戦略の下、健康寿命を延伸すべく多くの医療・福祉機器の開発が行われています。現在、日常生活下で心拍や呼吸、身体の動きを被験者に意識させずに記録するウェアラブル記録システム、介護施設において転倒予防のため入所者の起床を検知しスタッフへ知らせるウェアラブルセンサシステム、ベッドに寝のみで心拍や呼吸、身体の動きを被験者に意識させずに記録するシステムなどの研究を行っています。



特徴・既存技術との優位性

■ウェアラブル生体情報記録システム■

高齢者に装着した3軸加速度センサで測定した加速度から、心拍数、呼吸数及び体動量等を検出しPHSモジュールを介してホストコンピュータに自動送信することで、高齢者の家族、介護者及び医師は遠隔モニタリングを可能とします。

■ウェアラブル起床モニタリングシステム■

ベッドからの起床時における転倒予防のため、対象者の胸部に装着したウェアラブルセンサを用いて、加速度センサから得られる身傾斜角度を基に、水平に対して30度以上体が起き上がるとスタッフが持つ端末へ知らせることを可能とします。

■ベッドにおける生体情報記録システム■

ベッドマットレス内に超音波送受信器のみを設置したベッドを用いて、心拍数や呼吸数、体動量を記録し、日常生活の健康管理を行うことを可能とします。



事業化の用途展開

- 独居高齢者の見守りシステムとして利用
- 入所者の見守りシステムとして利用
- 日常での健康管理システムとして利用

申込み・問い合わせ先

■連絡先：(公財)ひろしま産業振興機構 研究開発支援センター [担当：百々]

(〒730-0052 広島市中区千田町 3-7-47)

TEL：082-240-7712 FAX：082-242-7709

■申込期限：平成29年11月6日(月)までに、お申込み又はご連絡ください。

主催 公益財団法人ひろしま産業振興機構